

感染症情報 1月27日～2月2日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1131例(堺市	83例)
②溶連菌感染症	623例(堺市	90例)
③RSウイルス感染症	97例(堺市	10例)
④伝染性紅斑	62例(堺市	1例)
④水痘	62例(堺市	4例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 5065例(堺市 493例)

が報告された。感染症報告数は前週比6.6%増の2,155件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して3%増、堺市では51%増であった。溶連菌感染症は府下で19%増、堺市で67例→90例であった(34%増)。RSウイルス感染症は府下で4%増、堺市で9例→10例であった。伝染性紅斑は府下で7%減、堺市で3例→1例であった。水痘が府下で5%減、堺市で2例→4例であった。

インフルエンザの5065例は20%減、定点あたりは21.19→16.88であった。堺市は493例で18%減、定点あたりは20.79→17.00であった。

堺市教育委員会公表の6日正午現在の学年閉鎖は<堺区>錦小2年<東区>登美丘西小1年、学級閉鎖は<堺区>榎小1・5年、<中区>深井西小2・6年、土師小1・2年、東深井2年、深阪小6年、東陶器小1年、<東区>日置荘西小1年、白鷺小2年、登美丘西小3年、日置荘中1年、野田中2年、<西区>浜寺石津小2年、鳳南小4年、向丘小2年、福泉小1年、<南区>福泉中央小4年、はるみ小1年、槇塚台小6年、<北区>五箇荘小2年、金岡小4年、五箇荘中1年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。